



お疲れ様です。今回は危険な作業についてのお話ぢゃ。
ケガをしてからでは遅い！ケガをしないためにもよく読むのぢゃ！



あなたの

ひそ 近くに潜むキケン

動力機械編

◆重大な災害が発生

先日、トーコースタッフが動力機械にはさまれ、指先欠損という大ケガをしました。原因は被災者による作業手順の間違いです。しかし、人は誰でも間違いを起こすもの。特に動力の強い機械などには『人が間違いを起こしてもケガに至らない安全対策』を打つ必要があります。この災害では対策が不十分であったため災害が発生したと考えられます。

◆動力機械とは？

一言に動力機械といっても、どんなものでしょうか？わかりやすく説明すると動力により「動くもの・回転するもの」です。その動く・回転する力が強ければ強いほど災害が発生したとき、ケガの度合いが高くなると考えて良いでしょう。

◆動力機械のすべてがキケンというわけではない

全ての動力機械がキケンというわけではありません。十分な対策があれば安全に作業ができます。
例えばプレス機は、一般的にキケンといわれる機械・設備ですが、以下のような安全対策が施されています。

- ①両手押しスイッチを押している間のみプレス動作が行われ、ボタンから手を離すと動作が停止する。
- ②プレス動作中はセンサーが作動し、誤って手を入れても非常停止する。

一般的に動力が強い機械・設備ではこのような二重以上の対策が施されているのです。
あなたの職場で、十分な対策がなく危険を感じる機械・設備はありませんか？

◆まずはチェックしてみよう

動力機械・設備が作業場にありませんか？

- 作業手順を間違えるとケガをする可能性がある
- 機械・設備の可動部・動力部に安全カバーやセンサーがなく、むき出しになっている箇所がある
- 非常停止ボタンが近くにない
- 安全設備（センサーなど）の作動チェックを毎日していない
- 作業中、ヒヤリとしたこと、ハッとしたことがある

※上記、5項目にひとつでも該当する場合はトーコー担当者に相談しましょう。

今月の安全衛生川柳 「作動する 機械が手招く 重篤災害」 お粗末でした。

【お知らせ】安全三二通信で取り上げて欲しい内容を募集しています。リクエストはトーコー担当者または安全衛生課まで

